

Splitter for ASP.NET Web Forms

2018.04.10 更新

グレースィティ株式会社

目次

製品の概要	3
ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ	3
主な特長	4
クイックスタート	5
手順 1: ページへの C1Splitter の追加	5
手順 2: コントロールの動作と外観の変更	5-6
手順 3: コントロールへのコンテンツの追加	6-7
手順 4: 実行時における C1Splitter コントロールの操作	7-9
デザイン時のサポート	10
スマートタグ	10-11
コンテキストメニュー	11
C1Splitter の要素	12
C1Splitter の外観および動作	13
テーマ	13-14
スプリッタバーの位置	14
スプリッタバーのアニメーション効果	14
アニメーション効果の説明	14-15
アニメーション効果の持続時間	15
パネルのレイアウト	16
パネルの縮小と拡張	16
パネルのスクロール	16-17
パネルのプレビュー	17
分割タイプ	18
水平分割	18
垂直分割	18-19
複合分割	19
フルサイズ分割	19-20
タスク別ヘルプ	21
スプリッタパネルへコンテンツの追加	21
C1Splitter への任意のコントロールの追加	21-23
スプリッタパネルへのテキストの追加	23-24

外観の変更	24
テーマの変更	24-26
テーマをカスタムテーマに変更	26-28
スプリッターバーの位置の変更	28-29
さまざまな分割タイプの作成	29
水平分割の作成	29-31
複合分割の作成	31-32
フルサイズ分割の作成	32-33
動作の設定	33
スプリッターパネルの最小サイズの設定	33-34
縮小されたスプリッターパネルの設定	34-36
アニメーション効果の使用	36-37
ゴースト効果の使用	37-39

製品の概要

Splitter for ASP.NET Web Formsを使用して、専門的かつ洗練されたウェブサイトを作成することができます。本コンテナコントロールには、コンテナ表示領域を2つのサイズ変更可能なパネルに分割する、移動可能で縮小可能なバーがあります。スプリットは無限的にネストされ、ユーザーインターフェースの設計の様々な可能性を提供します。

ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ

ComponentOne for ASP.NET Web Forms の各コントロールで共通したトピック、アセンブリの追加、テーマの適用、クライアント側情報などについては「[ASP.NET Web Forms ユーザーガイド](#)」を参照してください。

主な特長

C1Splitter の主な特長として、次の事項が挙げられます。

- **パネルの拡張と縮小**
1つのプロパティを設定するだけで、パネルを拡張または縮小できます。画像やマウスポインタが置かれたときのスタイルといった視覚効果をスプリッターバーに追加し、パネルの縮小や拡張を表します。パネルの縮小や拡張の詳細については、「[パネルの縮小と拡張](#)」を参照してください。
- **無限ネスト**
Splitter for ASP.NET Web Forms のネスト機能を使用すれば、大量のデータを1つのページに整理できます。**Splitter for ASP.NET Web Forms** では、選択した方向の複数のスプリッターをネストでき、またパネルをリサイズすると、ネストされたスプリッターのサイズ変更も処理されます。詳細情報については、「[複合分割](#)」を参照してください。
- **フルスプリット**
FullSplit プロパティを**True** に設定することで、フルサイズスプリッターを作成することができます。ウェブブラウザをリサイズすると、**C1Splitter**コントロールがスムーズに縮小・拡張されます。
- **テーマ**
スマートタグをクリックするだけで、6種類のプレミアムテーマ (Arctic、Midnight、Aristo、Rocket、Cobalt、および Sterling) のいずれかを選択してプログレスバーの外観を変更します。オプションとして、jQuery UI から ThemeRoller を使用してカスタマイズしたテーマを作成します。

クイックスタート

このクイックスタートの目的は、**Splitter for ASP.NET Web Forms** に精通することです。このクイックスタートの最初の手順では、**C1Splitter** コントロールを Web プロジェクトに追加します。このクイックスタートでは、**C1Splitter** の一般的なプロパティを設定する方法、そのパネルに任意のコンテンツを追加する方法、およびコントロールを実行時に操作する方法も説明します。

手順 1: ページへの C1Splitter の追加

この手順では、Web サイトプロジェクトを作成し、**C1Splitter** コントロールを追加します。

以下の手順を実行します。

1. まず、ASP.NET Web サイトを作成します。
2. デザインビューで、Visual Studio のツールボックスに移動し、**C1Splitter** コントロールをダブルクリックしてフォームに追加します。

次のように、空のペイン2つとスプリッターバー1つを持つ **C1Splitter** が表示されます。



次の手順では、**C1Splitter** コントロールの動作と外観に変更を加えます。

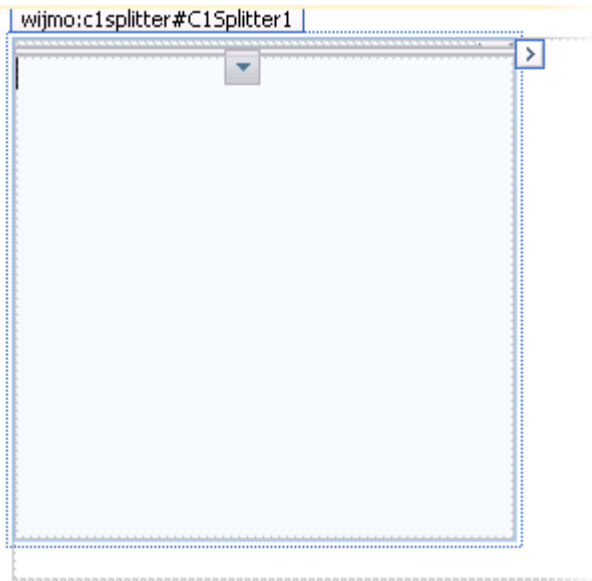
手順 2: コントロールの動作と外観の変更

この手順では、**C1Splitter** コントロールの外観と動作をカスタマイズします。

以下の手順を実行します。

1. Web ページ上で **C1Splitter** コントロールを選択し、**プロパティウインドウ** で以下のプロパティを設定します。
 - **Width** プロパティを「250px」に設定します。
 - **Height** プロパティを「250px」に設定します。
 - **SplitterDistance** プロパティを「75px」に設定します。
 - **Orientation** プロパティを **Horizontal** に設定します。
2. **Panel1** ノードを拡張してそのプロパティリストを表示してから、**Collapsed** プロパティを **True** に設定します。これにより、ページロード時に上部のパネルが縮小されるように設定されます。
3. **Panel2** ノードを拡張してそのプロパティリストを表示してから、**MinSize** プロパティを「82」に設定します。これによって、下部のパネルは実行時に 82 ピクセル未満にはサイズ変更できなくなります。

外観の設定はデザイン時にアップデートされ、コントロールは次の図のようになります。



次の手順では、**C1Splitter** コントロールにコンテンツを追加します。

手順 3: コントロールへのコンテンツの追加

この手順では、デザイナーとマークアップコードの両方を使用して、C1Splitter にコンテンツを追加します。コントロールは、Visual Studio ツールボックスからパネルに簡単にドロップできます。また、ソースビューに切り替えてマークアップコードに要素を追加することによっても同じ結果が得られます。

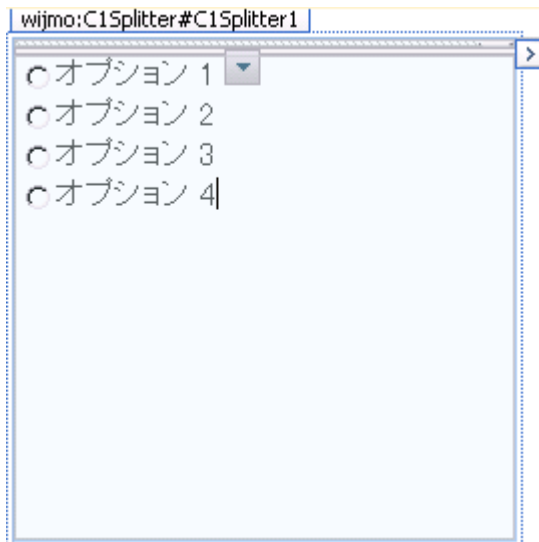
以下の手順を実行します。

1. 「ソース」タブをクリックしてソースビューに入り、<Panel2> タグの間に次のマークアップを入力します。

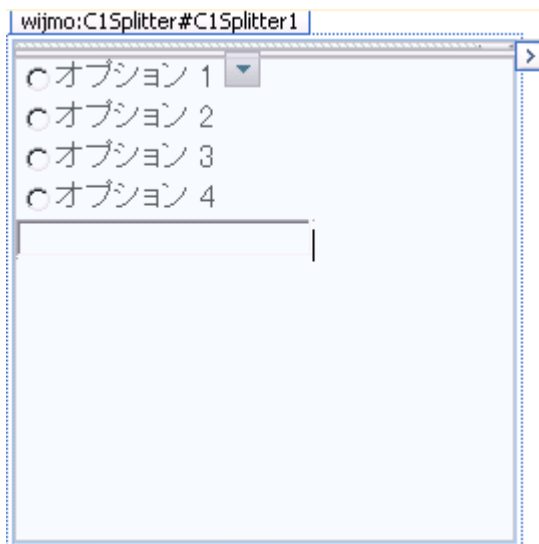
ソースビュー

```
<ContentTemplate>
  <asp:RadioButton ID="RadioButton1" runat="server" Text="オプション 1" />
  \n
  <asp:RadioButton ID="RadioButton2" runat="server" Text="オプション 2" />
  \n
  <asp:RadioButton ID="RadioButton3" runat="server" Text="オプション 3" />
  \n
  <asp:RadioButton ID="RadioButton4" runat="server" Text="オプション 4" />
</ContentTemplate>
```

2. 「デザイン」タブをクリックしてデザインビューに戻り、4つのラジオボタンが **Panel2** に追加されていることを確認します。結果は次の図のようになります。



3. **Panel2** に **オプション 4** の後にカーソルを置いて、**Enter** を押します。
4. Visual Studio のツールボックスに移動して、**TextBox** アイコンをダブルクリックしてパネルに **TextBox** コントロールを追加します。結果は次の図のようになります。



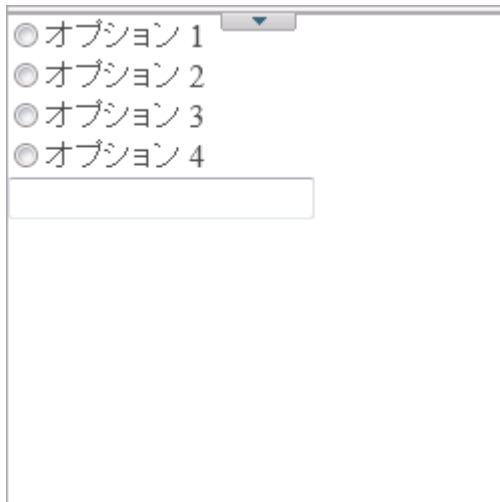
次の手順では、プログラムを実行し、**C1Splitter** コントロールの動作上の特長のいくつかを確認します。

手順 4: 実行時における C1Splitter コントロールの操作

C1Splitter のカスタマイズとコンテンツの追加が完了したので、次にプロジェクトを実行し、コントロールに加えた変更のいくつかを確認します。

以下の手順を実行します。

1. [F5]を押して、プロジェクトをビルドします。**C1Splitter** コントロールは、下の図のように表示されます。

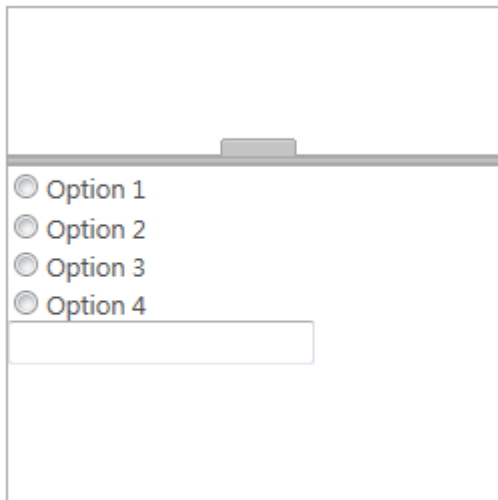


Panel2 のみが表示されることを確認してください。**Panel1** は縮小されています。これは、**Collapsed** プロパティを **True** に設定したためです。

2. エクスパンダーボタンをクリックします。

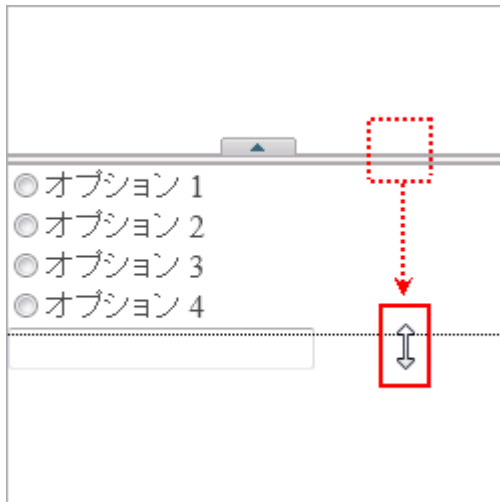


Panel1 が拡張され、表示されます。

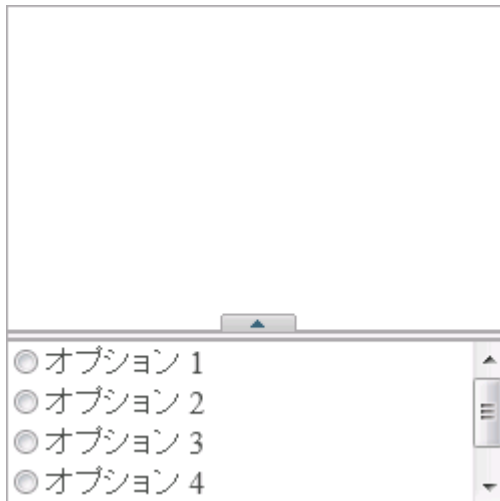


3. スプリッターバーをクリックしてアクティブ化してから、コントロールの下端までドラッグしてみます。

Splitter for ASP.NET Web Forms



予想したとおり、また上の図からもわかるように、バーをコントロールの下端まで移動することはできません。これは手順 2において、**Panel2** を高さ 82 ピクセル未満には縮小できないように、**MinSize** を **82** に設定したためです。したがって、マウスボタンを離すと、結果は次の図のようになります。



おめでとうございます。これで、C1Splitter クイックスタートが正常に完了しました。このトピックでは、**C1Splitter** コントロールを Web ページに追加し、その動作と外観をカスタマイズし、パネルにコンテンツを追加して、コントロールを実行時に操作しました。

デザイン時のサポート

C1Splitter は、カスタマイズされたコンテキストメニュー、スマートタグ、および充実したデザイン時サポートを提供するデザイナーを備えており、オブジェクトモデルの操作が簡素化されています。

次のトピックでは、**C1Splitter** のデザイン時環境を使用して **C1Splitter** コントロールを設定する方法について説明します。

スマートタグ

Visual Studioでは、**Splitter for ASP.NET Web Forms** の各コントロールはスマートタグを備えています。スマートタグは、各コントロールで最もよく使用されるプロパティを提供するショートカットのタスクメニューを表します。

[**C1Splitter タスク**]メニューにアクセスするには、**C1Splitter** コントロールの右上端にあるスマートタグ () をクリックします。これによって、[**C1Splitter タスク**]メニューが開きます。



[**C1Splitter タスク**]メニューは次のように動作します。

- 方向**
 [方向]ドロップダウンボックスを選択すると、スプリッターバーの方向(垂直と水平)を指定できます。デフォルトでは、Vertical に設定されています。
- エキスパンダーの表示**
エキスパンダーの表示のチェックボックスを選択することによって、スプリッターバーのエキスパンダーボタンを表示するかどうかを設定できます。デフォルトでは、**エキスパンダーの表示**のチェックボックスは選択されており、ボタンが表示されることを意味します。
- テーマ**
 [テーマ]ドロップダウンをクリックして提供される6つの組み込み **ComponentOne for ASP.NET Web Forms** テーマから選択してコントロールに適用することができます。
- 新しいテーマの作成**
 [新しいテーマの作成]オプションをクリックすると、**ThemeRoller for Visual Studio** が開きます。したがって、開発環境内でテーマをカスタマイズすることができます。アプリケーションで **ThemeRoller for Visual Studio** を使用方法については、「[ThemeRoller for Visual Studio](#)」を参照してください。
- CDN の使用**
 [CDN の使用]チェックボックスを ON にすると、CDN からクライアントリソースがロードされます。これはデフォルトで OFF です。
- CDN パス**
 CDN の URL パスを表示します。
- Bootstrap の使用**

Splitter for ASP.NET Web Forms

[Bootstrap の使用]オプションを選択すると、コントロールに Bootstrap テーマを適用することができます。アプリケーションで Bootstrap テーマを使用する方法については、「[Bootstrap for ASP.NET Web Forms クイックスタート](#)」を参照してください。

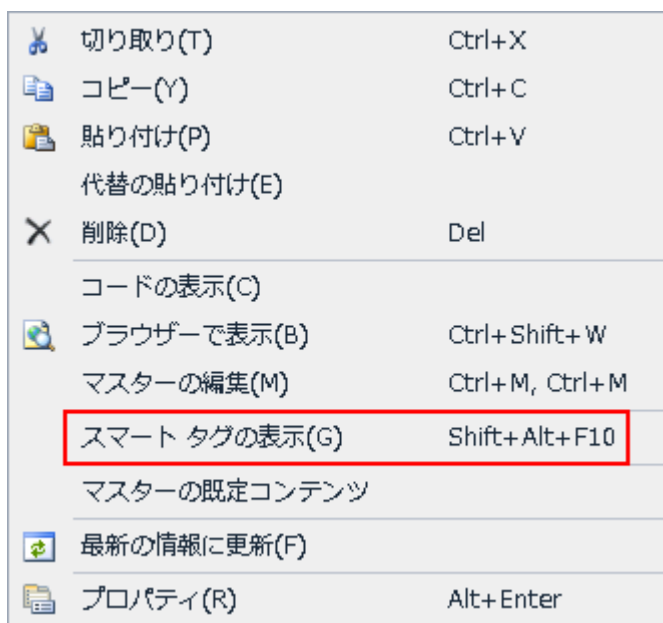
- **バージョン情報**
[バージョン情報]をクリックすると、製品のバージョン情報を確認できるダイアログボックスが表示されます。

コンテキストメニュー

C1Splitter では、**C1Splitter** コントロールや **C1UpdateSplitter** コントロールに関連付けられたコンテキストメニューまたはショートカットメニューで、デザイナー動作が表示されます。

C1Splitter のコンテキストメニュー

C1Splitter コントロール上の任意の場所を右クリックし、そのコンテキストメニューを表示します。



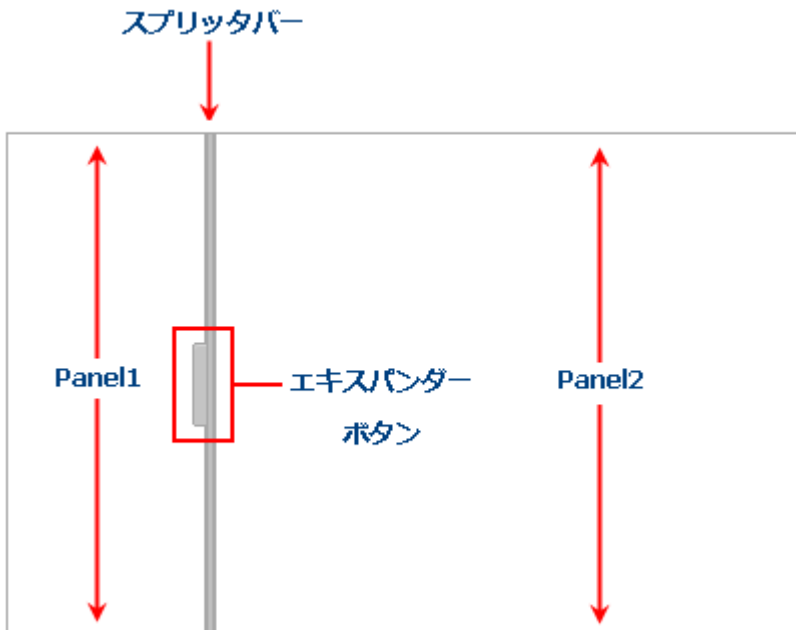
Splitter for ASP.NET Web Forms では、次のコマンドがこのコンテキストメニューに追加されています。

- **スマート タグの表示**
[スマート タグの表示]をクリックすると、[**C1Splitter タスク**]メニューが開きます。

C1Splitter の要素

C1Splitter コンテナコントロールは、SplitterPanel (スプリッタパネル)、エキスパンダーボタンという2つの基本的なオブジェクトで構成されています。スプリッタパネルは、Panel1 および Panel2 の外観と動作を定義します。

次の図は、デフォルトの垂直 C1Splitter 上にあるスプリッタの要素を示しています。



スプリッタパネル

C1Splitter は、スプリッタバーで区切られた2つのパネルで構成されます。パネルは、垂直に分割されている場合はスプリッタバーの左右、水平に分割されている場合はスプリッタバーの上下に表示されます。デザイナーでは、**C1Splitter** の左または上のパネルは Panel1、右または下のパネルは Panel2 と名付けられます。デザイナーでは、Panel1 プロパティと Panel2 プロパティによって各パネルの外観と動作を制御できます。どちらのパネルにも **SplitterPanel** オブジェクトの同じプロパティが含まれています。各パネルは個別に設定できるため、それぞれ異なる動作とスタイルを適用できます。

これらのカスタマイズを実現するには、次に挙げる **SplitterPanel** オブジェクトのプロパティをどれでも使用できます。

プロパティ	説明
Collapsed	パネルが縮小または拡張されているかどうかを示す値を取得または設定します。
MinSize	スプリッタパネルの最小サイズを取得または設定します。
ScrollBars	スプリッタパネルに表示するスクロールバーのタイプを取得または設定します。None、Horizontal、Vertical、Both、Auto の5つのオプションがあります。

SplitterPanel のオブジェクトモデルでは、パネルは両方とも SplitterPanel と呼ばれます。**SplitterPanel** オブジェクトには、Panel1 と Panel2 のプロパティとメソッドが含まれています。

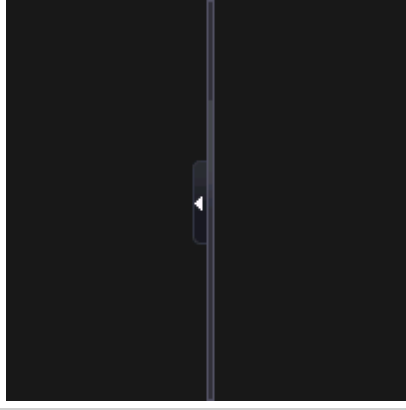


C1Splitter の外観および動作

次のセクションでは、**C1Splitter** コントロールのスタイルを制御する外観に関連したプロパティについて詳しく説明します。

テーマ

C1Splitter コントロールには5つのテーマが組み込まれています。これらのテーマの一つが選択されている場合、ページ上の他のすべての **ComponentOne for ASP.NET** コントロールはそれに応じてスキンが適用されます。**C1Splitter** control コントロールのテーマは次のように表示されます。

Arctic	
Aristo	
Cobalt	

Midnight	
Rocket	
Sterling	

C1Splitter コントロールのテーマを設定するには、**Theme** プロパティで組み込みテーマの1つを選択して設定します。

スプリッターの位置

スプリッターの位置 (C1Splitter の左端または上端からのピクセル数) は、**SplitterDistance** プロパティによって指定できます。このプロパティは、実行時にスプリッターの位置を指定するときにも役立ちます。

スプリッターのアニメーション効果

次のトピックでは、**Splitter for ASP.NET Web Forms** のアニメーション効果と遷移効果について説明します。

アニメーション効果の説明

C1Splitter には、移動時のスプリッターの反応を変更する、31 種類のアニメーション効果が組み込まれています。デフォルトの遷移は **EaseLinear** ですが、**AnimateEasing** プロパティを設定することによって別の効果に設定できます。

Splitter for ASP.NET Web Forms

下の表で、各アニメーション効果について説明します。

名前	説明
FadeIn	コントロールの本体が拡張することにより、フェードインするように見えます。
FadeOut	コントロールの本体が縮小することにより、フェードアウトするように見えます。
ScrollInFromTop	コントロールの本体が拡張しながら上からスクロールインします。
ScrollInFromRight	コントロールの本体が拡張しながら右からスクロールインします。
ScrollInFromBottom	コントロールの本体が拡張しながら下からスクロールインします。
ScrollInFromLeft	コントロールの本体が拡張しながら左からスクロールインします。
ScrollOutToTop	コントロールの本体が縮小しながら上へスクロールアウトします。
ScrollOutToRight	コントロールの本体が縮小しながら右へスクロールアウトします。
ScrollOutToBottom	コントロールの本体が縮小しながら下へスクロールアウトします。
ScrollOutToLeft	コントロールの本体が縮小しながら左へスクロールアウトします。
Fold	コントロールの本体がまず垂直に縮小し、そのあと水平に縮小するため、折りたたまれるように見えます。
UnFold	コントロールの本体がまず水平に拡張し、そのあと垂直に拡張するため、展開されるように見えます。
OpenVertically	コントロールの本体がその領域の中心から垂直に拡張します。
CloseVertically	コントロールの本体がその領域の中心から垂直に縮小します。
OpenHorizontally	コントロールの本体がその領域の中心から水平に拡張します。
CloseHorizontally	コントロールの本体がその領域の中心から水平に縮小します。
Shake	コントロールの本体が水平に振動しながら拡張または縮小します。
Bounce	コントロールの本体が垂直に振動しながら拡張または縮小します。
DropInFromTop	コントロールの本体がコントロールの下から上へ拡張します。
DropInFromRight	コントロールの本体がコントロールの左から右へ拡張します。
DropInFromBottom	コントロールの本体がコントロールの上から下へ拡張します。
DropInFromLeft	コントロールの本体がコントロールの右から左へ拡張します。
DropOutToTop	コントロールの本体がコントロールの上へ縮小していきます。
コントロールの本体がコントロールの上へ縮小していきます。	コントロールの本体がコントロールの右へ縮小していきます。
DropOutToBottom	コントロールの本体がコントロールの下へ縮小していきます。
DropOutToLeft	コントロールの本体がコントロールの左へ縮小していきます。

アニメーション効果の持続時間

C1Splitter のアニメーション効果の長さは、**Duration**プロパティを使用して設定できます。アニメーション効果の持続時間の指定に使用される時間の単位はミリ秒であり、**Duration** プロパティのデフォルト設定値は **500** ミリ秒 (0.5 秒) です。アニメーション効果を長くするにはこの値を増加させ、短くするにはこの値を減少させます。

パネルのレイアウト

C1Splitter には、プロジェクトを実行しなくても最終結果を表示できる WYSIWYG エディタが用意されています。

C1Splitter でサポートされている WYSIWYG デザインインタフェースを使用すれば、**C1Splitter** で実行時の表示が確認できるため、子コントロールを簡単にパネルのコンテナ内で配置できます。

各コントロールを目的のパネルにドラッグ & ドロップすることによって、多数の子コントロールを各パネルに追加できます。子コントロールを **C1Splitter** に追加すると、その子コントロールは、デフォルトではパネルの左上端に配置されます。

各パネルは、Web フォーム上で矩形ボックス内の任意の場所をクリックすることによって選択できます。

パネルの縮小と拡張

Collapsed プロパティを使用すれば、パネルの縮小／拡張を指定できます。**C1Splitter** のパネルは、**Collapsed** プロパティを **True** または **False** に設定することによって簡単に縮小／拡張できます。実行時には、エキスパンダーボタンをクリックしてパネルを拡張できます。

 **注意:** 一度に1つのパネルのみ縮小できます。

次の図は、**Collapsed** プロパティが **True** に設定されている場合を示しています。



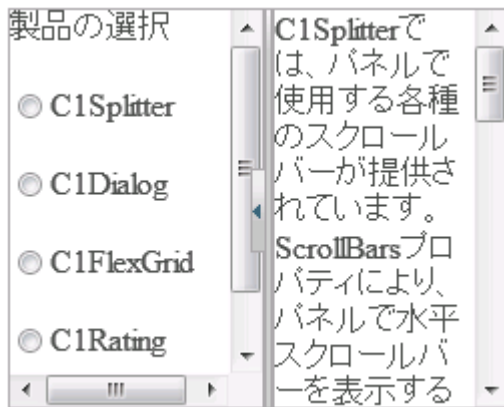
パネルのスクロール

C1Splitter では、パネルで使用する各種のスクロールバーが提供されています。**ScrollBars** プロパティにより、パネルで水平スクロールバーを表示するか、垂直スクロールバーを表示するかを指定できます。**ScrollBars** プロパティは、設定値として **None**、**Horizontal**、**Vertical**、**Both**、および **Auto** が選択できます。**Auto** は **ScrollBars** プロパティのデフォルト設定値であり、含まれる情報がパネルのサイズを超えたときに **C1Splitter** で垂直スクロールバーや水平スクロールバーを自動的に追加できます。スクロールバーを使用しない場合は、両方のパネルの **ScrollBars** プロパティを **None** に設定できます。

各パネルには、異なるタイプのスクロールバーを使用できます。これは、各パネルに水平方向のスペースが大きいコントロールと小さいコントロールが含まれる場合に便利です。また、これによってスプリッタパネル内のレイアウトをより柔軟に設定できるようになります。

次の図は、**C1Splitter** で1つめのパネルに垂直スクロールバーを設定し、2つめのパネルに水平スクロールバーと垂直スクロールバーを設定した場合を示しています。

Splitter for ASP.NET Web Forms



パネルのプレビュー

C1Splitter には、**Ghost** というプロパティが含まれています。このプロパティは、ユーザーがスプリッターバーをドラッグしてパネルの1つをサイズ変更するときに、パネルのコンテンツのプレビューが表示されるかどうかを決定します。**Ghost**を **True** に設定すると、ユーザーがスプリッターバーを動かしているときに、パネルのコンテンツのプレビューが半透明で表示されます。**Ghost**を **False** に設定すると、スプリッターバーの配置を示す点線だけが表示されます。パネルのコンテンツは、スプリッターバーが解放されるまで表示されません。**Ghost**プロパティは、デフォルトでは **False** に設定されています。

下の表は、**Ghost**プロパティの2つの設定値の例を示しています。

Ghost = False	Ghost = True
	

分割タイプ

デフォルトの **C1Splitter** は、単純な垂直レイアウトです。垂直レイアウトでは、パネルは区切りによって左右に分けられています。区切りはバーと呼ばれます。

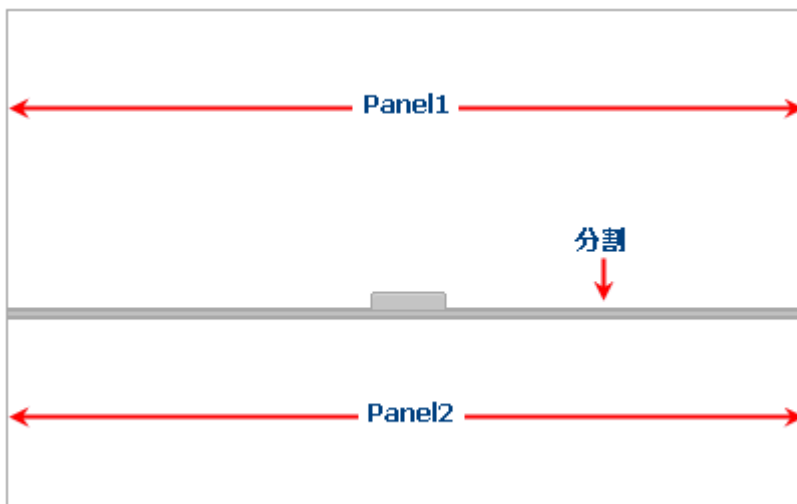
C1Splitter では、基本的な分割タイプとして次の4つがあります。

- 水平分割
- 垂直分割
- 複合分割
- フルサイズ分割

水平分割

水平分割はパネルが複数の行に分けられ、1つ以上の **C1Splitter**バーによって Web ページに表現されます。

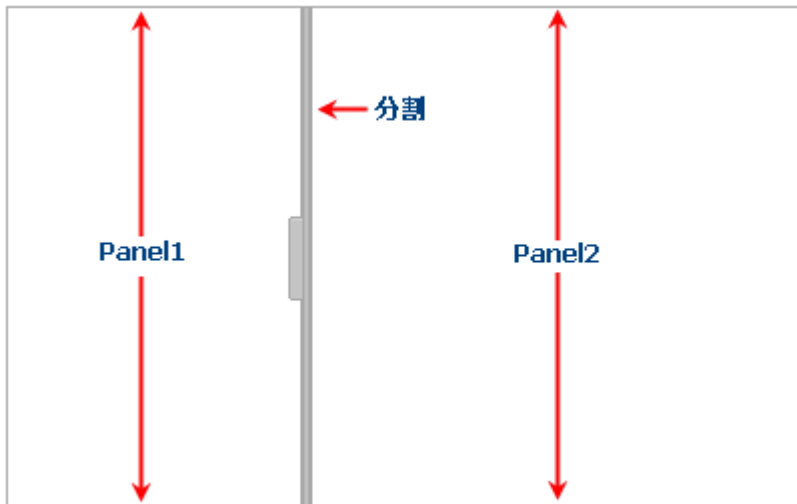
次の図は、水平分割の例を示しています。



垂直分割

垂直分割は、**C1Splitter**のデフォルトの分割タイプです。垂直分割はパネルが複数の列に分けられ、1つ以上の **C1Splitter**バーによって Web ページに表現されます。

次の図は、垂直分割の例を示しています。

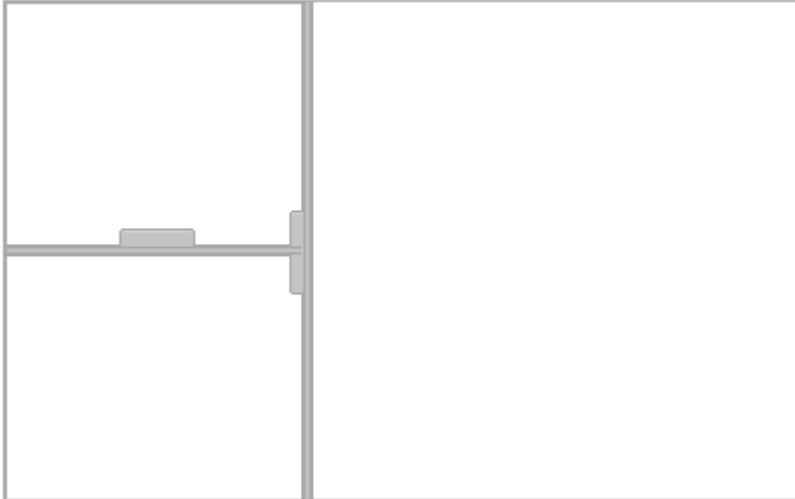


複合分割

複合分割は、ネストされた分割、つまり最初の **C1Splitter** コントロールに1つ以上の **C1Splitter** コントロールが含まれる場合です。複合分割は、複数の垂直スプリッタ、複数の水平スプリッタ、または垂直スプリッタと水平スプリッタの組み合わせを含む場合があります。

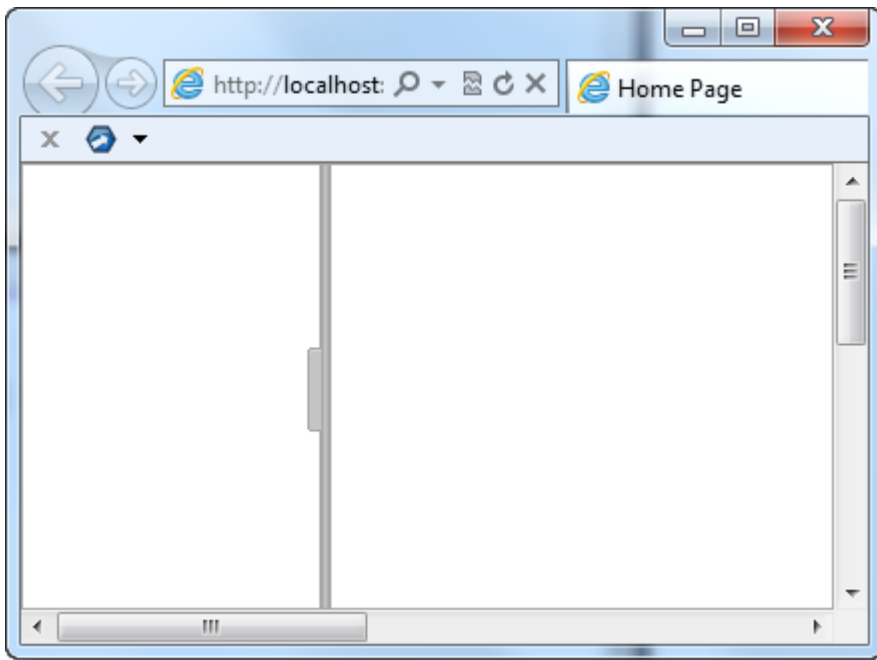
複合分割は、子 **C1Splitter** を親 **C1Splitter** のパネルに直接ドロップすることによって作成できます。

複合スプリッタの最も一般的な使用法は、フルカバーネスティングです。フルカバーネスティングを作成するには、ネストされたスプリッタコントロールの幅または高さを 100% に設定し、親のパネルのサイズまで完全に拡張します。次の図は、複合スプリッタでのフルカバーネスティングの例を示しています。



フルサイズ分割

フルサイズ分割は、Web ブラウザのコンテンツ領域一杯に引き伸ばされた水平／垂直分割です。以下の画面は、Internet Explorer ブラウザでのフルサイズ分割を示しています。



フルサイズ分割を作成するには、**FullSplit** プロパティを **True** に設定します。

タスク別ヘルプ

タスク別ヘルプのセクションは、ASP.NET プロジェクトを既に作成していることを想定しています。

スプリッタパネルへコンテンツの追加

C1Splitter コントロールでは、任意のコントロールを格納したり、テキストを表示したりできます。次のトピックでは、**C1Splitter** コントロールのページにコンテンツを追加する方法を説明します。

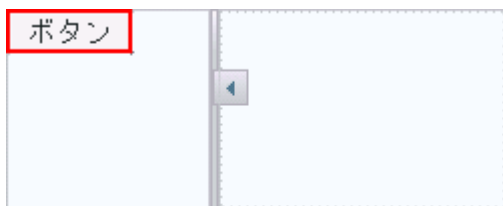
C1Splitter への任意のコントロールの追加

単純なドラッグ & ドロップ操作や HTML を使用して、**C1Splitter** コントロールの各パネルに任意のコントロールを追加できます。このトピックでは、**Button** コントロールを **Panel1** に、**TextBox** コントロールを **Panel2** に追加します。

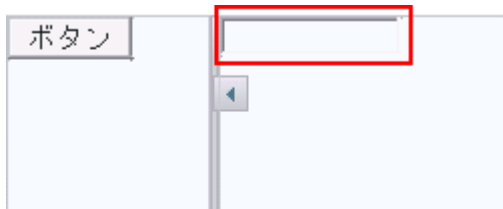
デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** コントロールを Web プロジェクト追加します。
2. Visual Studio ツールボックスから **Button** コントロールを選択し、それを **Panel1** にドラッグします。



3. Visual Studio ツールボックスから **TextBox** コントロールを選択し、それを **Panel2** にドラッグします。



ソースビューの場合

以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** コントロールを Web プロジェクト追加します。
2. 「ソース」タブをクリックしてソースビューに入ります。
3. <Panel1> タグを確認し、それらの間に次のタグを置きます。

ソースビュー

```
<ContentTemplate>  
<asp:Button ID="Button1" runat="server" Text="Button" />  
</ContentTemplate>
```

4. <Panel2> タグを確認し、それらの間に次のタグを置きます。

ソースビュー

```
<ContentTemplate>
<asp:TextBox ID="TextBox1" runat="server"> </asp:TextBox>
</ContentTemplate>
```

コードの場合

以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** コントロールを Web プロジェクト追加します。
2. Visual Studio ツールボックスから **PlaceHolder** コントロールを選択し、それを **Panel1** にドラッグします。
PlaceHolder1 が **Panel1** に表示されます。
3. Visual Studio ツールボックスから **PlaceHolder** コントロールを選択し、それを **Panel2** にドラッグします。
PlaceHolder2 が **Panel2** に表示されます。
4. ソリューションエクスプローラウィンドウで、プロジェクトを右クリックし、[**コードの表示**]を選択してコードエディタに入ります。
Button コントロールを作成し、次のコードを **Page_Load** イベントに入力することによって、そのコントロールにテキストを追加します。

Visual Basicコードの書き方

Visual Basic

```
Dim nuButton As Button = New Button()
nuButton.Text = "Hello World!"
```

C#コードの書き方

C#

```
Button nuButton = new Button();
nuButton.Text = "Hello World!";
```

5. 次のように **TextBox** コントロールを作成します。

Visual Basicコードの書き方

Visual Basic

```
Dim nuTextBox As TextBox = New TextBox()
```

C#コードの書き方

C#

```
TextBox nuTextBox = new TextBox();
```

6. 次のように **Button** コントロールを **PlaceHolder1** に追加します。

Visual Basicコードの書き方

Visual Basic

```
PlaceHolder1.Controls.Add(nuButton)
```

C#コードの書き方

C#

```
PlaceHolder1.Controls.Add(nuButton);
```

Splitter for ASP.NET Web Forms

7. 次のように **TextBox** コントロールを **PlaceHolder2** に追加します。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic  
PlaceHolder2.Controls.Add(nuTextBox)
```

C#コードの書き方

```
C#  
PlaceHolder2.Controls.Add(nuTextBox);
```

8. プログラムを実行します。

✔このトピックの作業結果

次の図は、**C1Splitter**コントロールで **Panel1** に **Button** コントロール、**Panel2** に **TextBox** コントロールを配置した場合を示しています。



スプリッタパネルへのテキストの追加

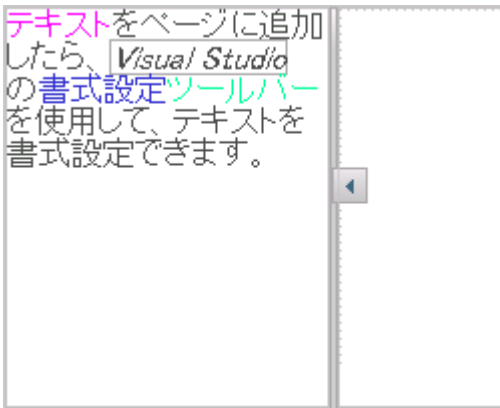
このトピックでは、デザイナと HTML マークアップを使用して、**C1Splitter** コントロールにテキストを追加する方法について説明します。

デザインビューンの場合

テキストをパネルに追加するには、カーソルをパネル内に置き、テキストをそのパネルに入力(またはコピー)するだけです。



テキストをページに追加したら、Visual Studio の書式設定ツールバー(このツールバーを表示するには、[表示]、[ツールバー]、[書式設定]を選択)を使用して、テキストを書式設定できます。下の図は、書式設定済みテキストを含む **C1PageView** を示しています。



ソースビューの場合

ソースビューでは、<Panel1> タグまたは <Panel2> タグの間にテキストを置くことによって、C1Splitter パネルにテキストを追加できます。テキストを書式設定するには、HTML マークアップを使用します。

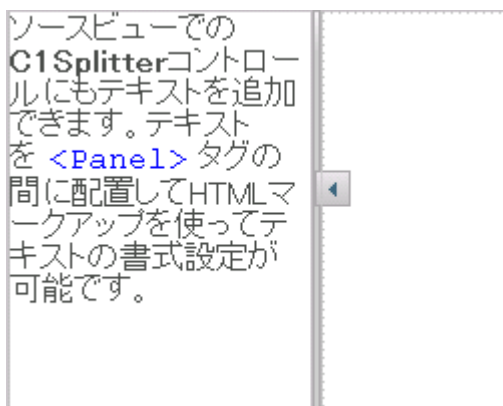
以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** コントロールをフォームに追加します。
2. ソースビューに切り替え、次のマークアップとテキストを <Panel1> タグの間に貼り付けます。

```

ソースビュー
<ContentTemplate>
ソースビューでの <b>C1Splitter</b> コントロールにもテキストを追加できます。テキストを <span style="color: #0000ff; font-family: Courier New">&lt;Panel&gt;</span> タグの間に配置してHTMLマークアップを使ってテキストの書式設定が可能です。
</ContentTemplate>
    
```

3. 「**デザイン**」タブをクリックしてデザインビューに入り、**C1Splitter** コントロールの **Panel1** にテキストが追加されていることを確認します。結果は次の図のようになります。



外観の変更

次のトピックでは、デザイナー、HTML、およびコードを使用して **C1Splitter** コントロールの外観を変更する方法を詳しく説明します。

テーマの変更


C1Splitter には、数回クリックするだけでコントロールに適用できる6つのテーマが組み込まれています。このトピックでは、デザインビュー、ソースビュー、およびコードでコントロールのテーマを変更する方法を説明します。詳細情報については、

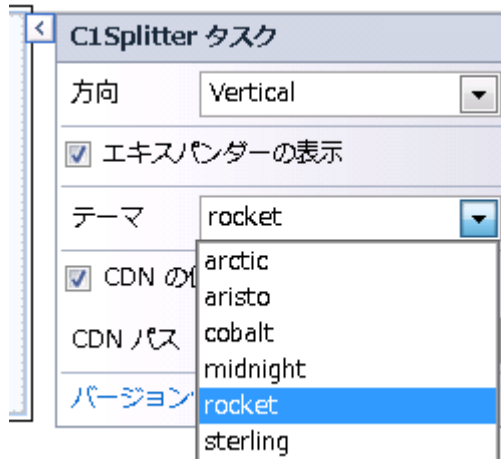
Splitter for ASP.NET Web Forms

「テーマ」を参照してください。

デザインビューでのテーマの変更

以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** のスマートタグ () をクリックして [C1Splitter タスク] メニューを開きます。
2. テーマのドロップダウン矢印をクリックし、リストからテーマを選択します。この例では、**rocket** を選択します。



C1Splitter コントロールに、テーマ **rocket** が適用されます。

ソースビューでのテーマの変更

ソースビューで C1Splitter のテーマを変更するには、次のように `Theme="rocket"` を `<cc1:C1Splitter>` タグに追加します。その結果、コードは次のようになります。

ソースビュー

```
<cc1:C1Splitter ID="C1Splitter1" runat="server" Theme="rocket">
```

コードでのテーマの変更

以下の手順を実行します。

1. 以下の名前空間をプロジェクトにインポートします。

Visual Basicコードの書き方

Visual Basic

```
Imports Cl.Web.Wijmo.Controls
```

C#コードの書き方

C#

```
using Cl.Web.Wijmo.Controls;
```

2. **Page_Load** イベントに **Theme** プロパティを設定する次のコードを追加します。

Visual Basicコードの書き方

Visual Basic

```
C1Splitter1.Theme = "rocket"
```

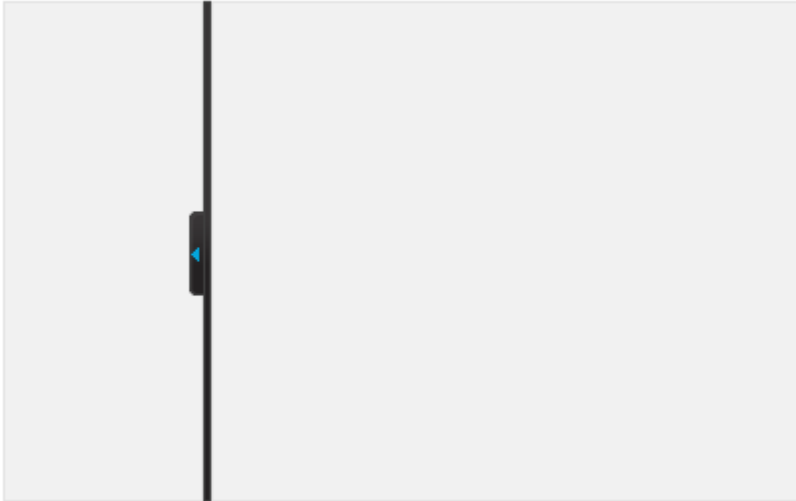
C#コードの書き方

```
C#
C1Splitter1.Theme = "rocket";
```

3. プログラムを実行します。

✔このピックの作業結果

次の図は、テーマ **rocket** を適用した**C1Splitter** コントロールを示しています。



テーマをカスタムテーマに変更

Splitter for ASP.NET Web Forms は6つのプレミアムテーマから選択し、C1Splitter の外観をカスタマイズできます。(Arctic, Midnight, Aristo, Rocket, Cobalt, and Sterling)。他にも、jQuery UI から ThemeRoller を使用してカスタマイズされたテーマを作成できます。

CDN URLの使用

以下の手順を実行します。

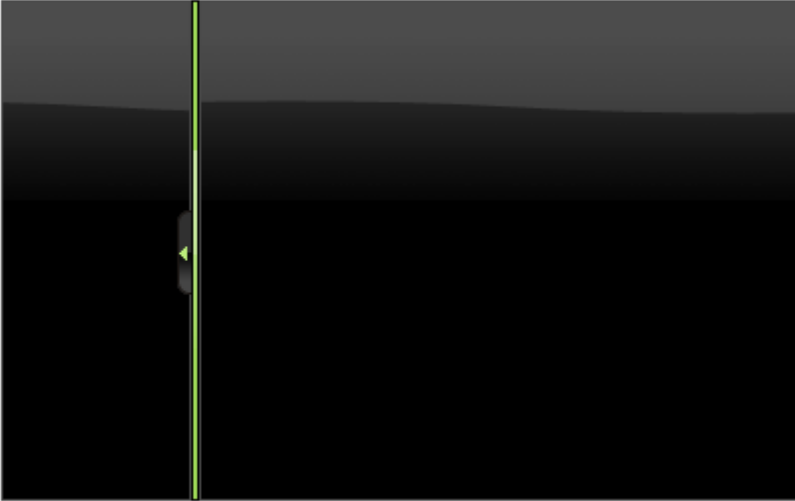
1. **C1Splitter** スマートタグをクリックして[タスクメニュー]を開きます。
2. テーマプロパティで CDN URL を入力してテーマを指定します。CDN URL は、<http://blog.jqueryui.com/2011/06/jquery-ui-1-8-14/> から確認でき、今回の例では *trontastic* というテーマを使用します: <http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jqueryui/1.8.14/themes/trontastic/jquery-ui.css>.



Splitter for ASP.NET Web Forms

このテーマ設定は、**Web.config** ファイルの `<appSettings>` タグに格納されます。ソリューションエクスプローラで **Web.config** ファイルをダブルクリックして `<appSettings>` タグに在る **WijmiTheme** キーを確認します。ここは、指定された CDN URL が追加される場所です。

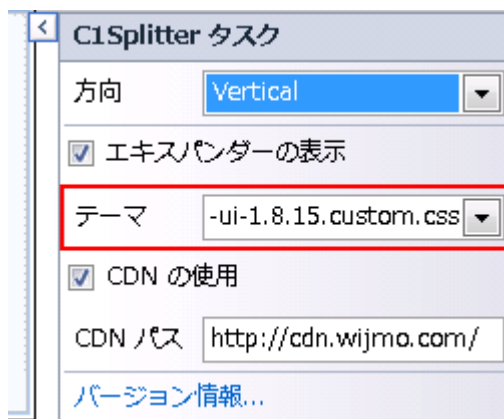
3. プロジェクトを実行して指定したテーマは C1Splitter に適用されていることを確認します。



jQuery ThemeRoller の使用

以下の手順を実行します。

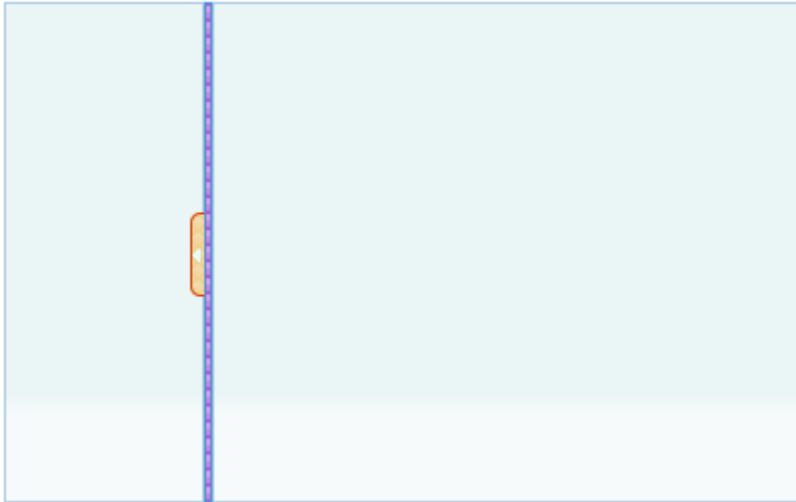
1. <http://jqueryui.com/themeroller/> に進みます。
2. 「**Roll Your Own**」タブで、カスタムテーマを作成するように設定を変更します。例えば、フォント、色、背景、罫線等をカスタマイズしたり、または「**Gallery**」タブで既存のテーマを選択したりします。
3. `<Download>` ボタンをクリックし、次に **Build Your Download** ページで `<Download>` をもう一度クリックします。
4. テーマの .zip ファイルを Visual Studio プロジェクトフォルダ内のフォルダに保存して解凍します。この例では、**customtheme** フォルダを作成しました。
5. ソリューションエクスプローラで、[**すべてのファイルを表示**]をクリックし、**customtheme** フォルダを右クリックして、[**プロジェクトに含める**]を選択します。
6. **C1Splitter** のスマートタグをクリックして、**タスクメニュー** を開きます。
7. [**CDN の使用**] チェックボックスを ON にします。
8. **Theme** プロパティで、カスタムテーマの .css へのパス (**custom-theme/css/custom-theme/jquery-ui-1.8.15.custom.css** など) を入力します。



このテーマ設定は **Web.config** ファイルの `<appSettings>` に格納されます。ソリューションエクスプローラで、**Web.config** ファイルをダブルクリックします。`<appSettings>` タグに **WijmoTheme** キーと値が含まれていることに注意してください。追加したカスタムテーマはここに指定されています。

9. プロジェクトを実行して、テーマが

C1Splitterに適用されることに注意してください。



スプリッターの位置の変更

スプリッターのデフォルト位置は、垂直分割の場合は左端から 100 ピクセル、水平分割の場合は上端から 100 ピクセルです。スプリッターの初期位置は、**SplitterDistance** プロパティを使用して調整できます。このトピックでは、デザインビュー、ソースビュー、およびコードで**SplitterDistance** プロパティを設定する方法について学びます。

デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** コントロールをWebフォームに追加します。
2. コントロールを右クリックし、[**プロパティ**]を選択します。
3. **プロパティ**ウィンドウで**SplitterDistance** プロパティを確認し、スプリッタの左端を基準としたスプリッターの位置を表す数値を指定します。この例では、**SplitterDistance** プロパティを 250 に設定します。
4. プログラムを実行します。

ソースビューの場合

スプリッターの位置を設定するには、`SplitterDistance="250"` を `<cc1:C1Splitter>` タグ内に置きます。**SplitterDistance** プロパティが設定されたら、そのマークアップは次のようになります。

ソースビュー

```
<cc1:C1Splitter ID="C1Splitter1" runat="server" SplitterDistance="250">
```

コードの場合

以下の手順を実行します。

1. 以下の名前空間をプロジェクトにインポートします。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic
```

```
Imports C1.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter
```

C#コードの書き方

Splitter for ASP.NET Web Forms

```
C#
```

```
using C1.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter;
```

2. 次のコードを **Page_Load** イベントに追加し、**SplitterDistance** プロパティを設定します。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic
```

```
C1Splitter1.SplitterDistance = 250
```

C#コードの書き方

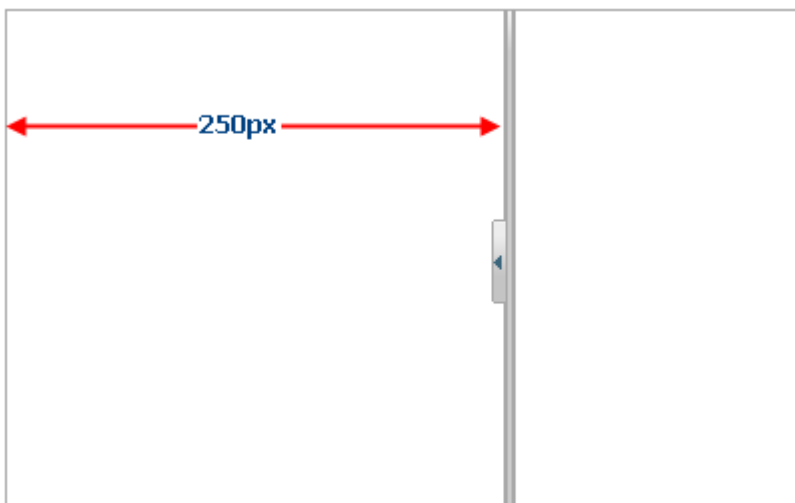
```
C#
```

```
C1Splitter1.SplitterDistance = 250;
```

3. プログラムを実行します。

✔このピックの作業結果

次の図は、C1Splitter でスプリッターバーをコントロールの左側から 250 ピクセルの位置に設定した場合を示しています。



さまざまな分割タイプの作成

C1Splitter コントロールによって作成できる分割タイプには、水平分割、複合分割、フルサイズ分割の3種類のタイプがあります。このセクションでは、各分割タイプを作成する手順を説明します。

分割タイプの詳細については、「[分割タイプ](#)」を参照してください。

水平分割の作成

水平分割は、1つのプロパティを設定するだけで作成できます。このトピックでは、デザインビュー、ソースビュー、およびコードで **Orientation** プロパティを設定する方法を学びます。

水平分割の詳細については、「[水平分割](#)」を参照してください。

デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** コントロールをフォームに追加します。
2. **プロパティ**ウィンドウで、スプリッタの **Orientation** を **Horizontal** に設定します。

ソースビューの場合

水平分割を作成するには、`Orientation="Horizontal"` を `<cc1:C1Splitter>` タグ内に置きます。Orientation プロパティが設定されたら、そのマークアップは次のようになります。

ソースビュー

```
<cc1:C1Splitter ID="C1Splitter1" runat="server" Height="212px" Orientation="Horizontal" Width="221px">
```

コードの場合

以下の手順を実行します。

1. 以下の名前空間をプロジェクトにインポートします。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic
Imports C1.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter
```

C#コードの書き方

```
C#
using C1.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter;
```

2. **Page_Load** イベントに次のコードを追加して、Orientation プロパティを設定します。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic
C1Splitter1.Orientation = C1.Web.Wijmo.Controls.Orientation.Horizontal
```

C#コードの書き方

```
C#
C1Splitter1.Orientation = C1.Web.Wijmo.Controls.Orientation.Horizontal;
```

3. プログラムを実行します。

✔このトピックの作業結果

スプリッタバーは水平に設定されました。このトピックの結果は、次の図のようになります。



複合分割の作成

複数の C1Splitter オブジェクトを組み合わせ、複合分割を作成できます。このトピックでは、垂直分割の最初のパネル内に水平分割をネストする方法について学びます。

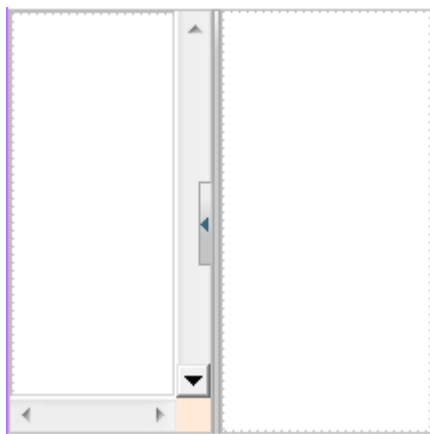
複合分割の詳細については、「[複合分割](#)」を参照してください。

以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** コントロールをフォームに追加します。

デフォルトの垂直分割レイアウトで **C1Splitter** が表示されます。

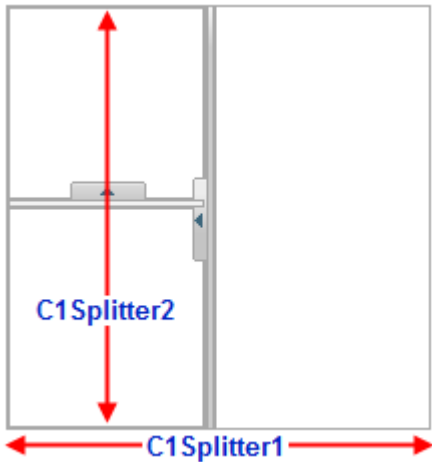
2. **C1Splitter1** を選択して、プロパティウィンドウに移動し、**Height** プロパティと**Width** プロパティを両方とも 212 に設定します。
3. 別の **C1Splitter** コントロールを Visual Studio ツールボックスからドラッグし、**C1Splitter1** の右ペイン (Panel1) にドロップします。**C1Splitter2** が右パネルに追加されます。垂直および水平スクロールバーが、次のように表示しコントロールの大きいサイズを表します。



4. 次に、**C1Splitter1** の右パネルに収まるように、**C1Splitter2** のサイズを変更する必要があります。これは、以下の手法のいずれかを使用して実行できます。
 - **C1Splitter2** を選択してプロパティウィンドウに移動します。その **Width** プロパティを 100 に、**Height** プロパティを 210 に設定します。
あるいは
 - **C1Splitter2** のコンテナの右下端をクリックして左上へドラッグし、**C1Splitter1** の右パネル (Panel1) にうまく収まるようにサイズ変更します。
5. **C1Splitter2** が右パネルに正しく配置されたら、その **Orientation** プロパティを **Horizontal** に設定します。

✔このトピックの作業結果

次の図は、**C1Splitter1** コントロールは **C1Splitter2** コントロールの右パネル内にネストした場合を示しています。



フルサイズ分割の作成

フルサイズ分割は、Web ブラウザのコンテンツ領域一杯に引き伸ばされた水平／垂直分割です。フルサイズ分割は、1つのプロパティ(**FullSplit**)を設定するだけで作成できます。このトピックでは、デザインビュー、ソースビュー、およびコードで**FullSplit** プロパティを設定する方法を学びます。

フルサイズ分割の詳細については、「[フルサイズ分割](#)」を参照してください。

デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** コントロールをフォームに追加します。
2. プロパティウィンドウで、スプリッタの **FullSplit** プロパティを **True** に設定します。
3. プログラムを実行して、コントロールがウェブブラウザの幅と高さによって拡張されることを確認します。

ソースビューの場合

以下の手順を実行します。

1. [ソース] ボタンをクリックしてソースビューに入ります。
2. `FullSize="True"` を `<cc1:C1Splitter>` タグ内に置いて、マークアップを次のように記述します。

ソースビュー

```
<cc1:C1Splitter ID="C1Splitter1" runat="server" Height="212px" FullSize="True"
Width="221px">
```

3. プログラムを実行して、コントロールがウェブブラウザの幅と高さによって拡張されることを確認します。

コードの場合

以下の手順を実行します。

1. 以下の名前空間をプロジェクトにインポートします。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic
```

Splitter for ASP.NET Web Forms

```
Imports C1.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter
```

C#コードの書き方

```
C#  
using C1.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter;
```

2. **Page_Load** イベント内に次のコードを追加して、**Orientation** プロパティを設定します。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic  
C1Splitter1.FullSplit = True
```

C#コードの書き方

```
C#  
C1Splitter1.FullSplit = true;
```

3. プログラムを実行して、コントロールがウェブブラウザの幅と高さによって拡張されることを確認します。

動作の設定

C1Splitter コントロールには、実行時のコントロールの動作を左右する一連のプロパティがあります。これらのプロパティの中には、ロード時のコントロールの動作に影響を与えるものや、ユーザーによるコントロールのインタラクティブ操作に影響を与えるものがあります。次のトピックでは、コントロールの実行時の動作を変更する方法を説明します。

スプリッタパネルの最小サイズの設定

場合によっては、ユーザーによる一定限度を超えたパネルのサイズ変更を禁止する必要があります。たとえば、**Panel1** に多数のボタンを常時表示しておく必要があるかもしれません。そうした状況に直面した場合は、**MinSize** プロパティを使用して、ユーザーがドラッグできない領域のサイズをピクセル単位で指定できます。このトピックでは、デザインビュー、ソースビュー、およびコードで**MinSize** プロパティを設定する方法について学びます。

デザインビューの場合

固定サイズパネルを作成するには、以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** コントロールをWeb フォームに追加します。
2. コントロールを右クリックし、[**プロパティ**]を選択します。**プロパティ**ウィンドウで、**Panel1** ノードを拡張します。
3. **Panel1** の**MinSize** プロパティを 30 に設定します。
4. プロジェクトを保存し、実行します。

ソースビューの場合

Panel1 を固定サイズパネルにするには、`<cc1:C1Splitter>` タグと `</cc1:C1Splitter>` タグの間に `<Panel1 MinSize="30"></Panel1>` を置きます。MinSize プロパティが設定されたら、そのマークアップは次のようになります。

ソースビュー

```
<cc1:C1Splitter ID="C1Splitter6" runat="server" Height="251px" Width="217px" SplitterDistance="50">  
<Panel1 MinSize="30">  
</Panel1>  
</cc1:C1Splitter>
```

コードの場合

以下の手順を実行します。

1. 以下の名前空間をプロジェクトにインポートします。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic
Imports C1.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter
```

C#コードの書き方

```
C#
using C1.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter;
```

2. **Page_Load** イベントに次のコードを追加して、**MinSize** プロパティを設定します。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic
C1Splitter1.Panel1.MinSize = 30
```

C#コードの書き方

```
C#
C1Splitter1.Panel1.MinSize = 30;
```

3. プログラムを実行します。

✔このトピックの作業結果

プロジェクトをビルドしたら、スプリッターバーを左へドラッグし、バーが 30 ピクセルで停止することを確認してください。

縮小されたスプリッターパネルの設定

縮小されたパネルを作成するには、**Collapsed** プロパティを使用します。このトピックでは、デザインビュー、ソースビュー、およびコードで **Collapsed** プロパティを設定する方法について学びます。

パネルの縮小と拡張についての詳細は、「[パネルの縮小と拡張](#)」を参照してください。

デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** コントロールを Web フォームに追加します。
2. コントロールを右クリックし、[**プロパティ**] を選択します。**プロパティ** ウィンドウで、**Panel1** ノードを拡張し、**Collapsed** プロパティを表示します。
3. **Collapsed** プロパティを True に設定します。

ソースビューの場合

Panel1 を縮小されたパネルにするには、`<cc1:C1Splitter>` タグと `</cc1:C1Splitter>` タグの間に `<Panel1 Collapsed="True"></Panel1>` を置きます。最終的なマークアップは次のようになります。

Splitter for ASP.NET Web Forms

ソースビュー

```
<cc1:C1Splitter ID="C1Splitter1" runat="server" Height="150px" Width="250px">  
  <ResizeSettings Ghost="True" />  
</cc1:C1Splitter>
```

コードの場合

以下の手順を実行します。

1. 以下の名前空間をプロジェクトにインポートします。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic  
Imports Cl.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter
```

C#コードの書き方

```
C#  
using Cl.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter;
```

2. **Page_Load** イベントに次のコードを追加して、**Collapsed** プロパティを設定します。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic  
Imports Cl.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter
```

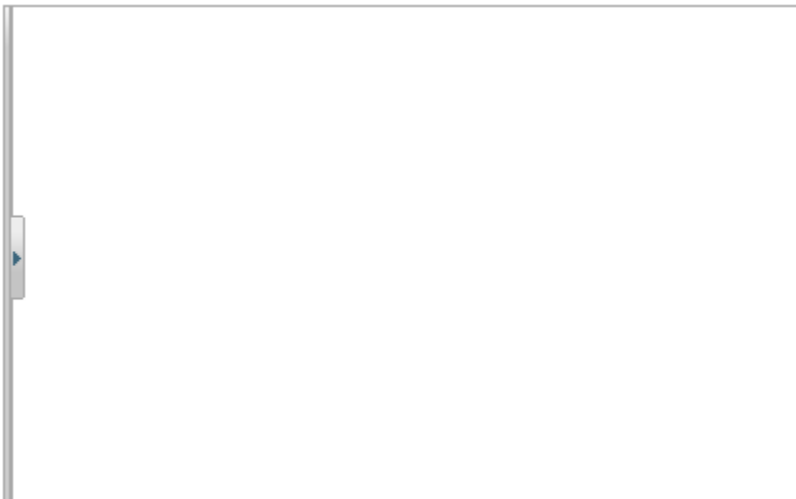
C#コードの書き方

```
C#  
using Cl.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter;
```

3. プログラムを実行します。

🟢 このトピックの作業結果

Panel1は、実行時に縮小されます。



パネルを拡張するには、エキスパンダーボタンをクリックするだけです。

アニメーション効果の使用

C1Splitter には、コントロールのインタラクティブ操作をカスタマイズできる 31 種類の遷移効果が含まれています。このトピックでは、**Easing** プロパティと **Duration** プロパティを設定して、スプリッターバーが動かされたときに発生するアニメーション効果を作成します。このトピックでは、デザインビュー、ソースビュー、およびコードでこれらのプロパティのそれぞれを設定する方法を説明します。

デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. Web ページで C1Splitter を選択してから、**プロパティ** ウィンドウに移動します。
2. **ResizeSettings** ノードを拡張して **AnimationOptions** ノードを拡張します。そして、以下の手順を実行します。
 - Easing プロパティを **EaseOutBounce** に設定します。このプロパティは、アニメーションの遷移効果を決定します。
 - **AnimationDuration** プロパティを **1000** に設定します。これによってアニメーション効果の持続時間が延長されるため、プロジェクトをビルドしたときに効果が目に見えるようになります。
3. プロジェクトをビルドしてから、マウスを使用してスプリッターバーをドラッグします。スプリッターバーを解放して、バーが数秒間バウンスしてから安定した状態に落ち着くことを確認してください

ソースビューの場合

ソースビューで、`<cc1:C1Splitter>` タグと `</cc1:C1Splitter>` タグの間に `<ResizeSettings AnimationDuration="1500" Easing="EaseOutBounce" />` を置き、次のようなマークアップを作成します。

ソースビュー

```
<cc1:C1Splitter ID="C1Splitter1" runat="server" Height="150px" Width="250px">
  <ResizeSettings Ghost="True" />
</cc1:C1Splitter>
```

プロジェクトをビルドしてから、マウスを使用してスプリッターバーをドラッグします。スプリッターバーを解放して、バーが数秒間バウンスしてから安定した状態に落ち着くことを確認してください。

コードの場合

以下の手順を実行します。

1. 以下の名前空間をプロジェクトにインポートします。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic
Imports Cl.Web.Wijmo.Controls
```

C#コードの書き方

```
C#
using Cl.Web.Wijmo.Controls;
```

2. アニメーションの持続時間を設定します。

Visual Basicコードの書き方

Splitter for ASP.NET Web Forms

Visual Basic

```
C1Splitter1.ResizeSettings.AnimationOptions.AnimationDuration = 1000
```

C#コードの書き方

C#

```
C1Splitter1.ResizeSettings.AnimationOptions.AnimationDuration = 1000;
```

3. アニメーション遷移効果を選択します。

Visual Basicコードの書き方

Visual Basic

```
C1Splitter1.ResizeSettings.AnimationOptions.Easing = Easing.EaseOutBounce
```

C#コードの書き方

C#

```
C1Splitter1.ResizeSettings.AnimationOptions.Easing = Easing.EaseOutBounce;
```

4. プロジェクトをビルドしてから、マウスを使用してスプリッターバーをドラッグします。スプリッターバーを解放して、バーが数秒間バウンスしてから安定した状態に落ち着くことを確認してください。

ゴースト効果の使用

デフォルトでは、ペインのサイズ変更を試みた場合、ユーザーにはスプリッターバーの配置を示す点線しか表示されません。しかし、ユーザーがスプリッターバーを動かしたときにペインのプレビューが表示されるように、C1Splitter を設定できます。この効果を実現するには、**Ghost** プロパティを **True** に設定します。このトピックでは、デザインビュー、ソースビュー、およびコードで **Ghost** プロパティを設定する方法について学びます。

Ghost プロパティの詳細については、「[パネルのプレビュー](#)」を参照してください。

デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** コントロールを Web プロジェクトに追加します。
2. **C1Splitter** コントロールの **Panel1** と **Panel2** にテキストを追加します。
3. **C1Splitter** コントロールを右クリックしてそのコンテキストメニューを開き、**[プロパティ]** を選択します。

C1Splitter のプロパティリストがフォーカスされた **プロパティ** ウィンドウが表示されます。

4. **ResizeSettings** ノードを拡張します。**ResizeSettings** クラスのプロパティが表示されます。
5. **Ghost** プロパティを **True** に設定します。
6. プロジェクトをビルドし、スプリッターバーを右へ動かすことによって **Panel1** をサイズ変更します。スプリッターバーを動かしていくと、サイズ変更される領域に見合うように **Panel1** 内のテキストが拡張され、2 つめのパネルのテキストに重なることを確認してください。

ソースビューの場合

以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** コントロールを Web プロジェクトに追加します。
2. **C1Splitter** コントロールの **Panel1** と **Panel2** にテキストを追加します。
3. **ソース** ボタンをクリックしてソースビューに切り替えます。

4. ソースビューで、`<cc1:C1Splitter>` タグと `</cc1:C1Splitter>` タグの間に `<ResizeSettings Ghost="True" />` を置きます。

ソースビュー

```
<cc1:C1Splitter ID="C1Splitter1" runat="server" Height="150px" Width="250px">
  <ResizeSettings Ghost="True" />
</cc1:C1Splitter>
```

5. プロジェクトをビルドし、スプリッターバーを右へ動かすことによって **Panel1** をサイズ変更します。スプリッターバーを動かしていくと、サイズ変更される領域に見合うように **Panel1**内のテキストが拡張され、2つめのパネルのテキストに重なることを確認してください。

コードの場合

以下の手順を実行します。

1. **C1Splitter** コントロールをWeb プロジェクトに追加します。
2. **C1Splitter** コントロールの Panel1 と Panel2 にテキストを追加します。
3. Web ページをダブルクリックしてコードビューに切り替えます。**Page_Load** イベントはページに追加されたことを確認します。
4. 以下の名前空間をプロジェクトにインポートします。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic
Imports C1.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter
```

C#コードの書き方

```
C#
using C1.Web.Wijmo.Controls.C1Splitter;
```

5. 次のコードを **Page_Load** イベントに置くことによって、**Ghost** プロパティを **True** に設定します。

Visual Basicコードの書き方

```
Visual Basic
C1Splitter1.ResizeSettings.Ghost = True
```

C#コードの書き方

```
C#
C1Splitter1.ResizeSettings.Ghost = true;
```

6. プロジェクトをビルドし、スプリッターバーを右へ動かすことによって **Panel1** をサイズ変更します。スプリッターバーを動かしていくと、サイズ変更される領域に見合うように **Panel1**内のテキストが拡張され、2つめのパネルのテキストに重なることを確認してください。

🟢このトピックの作業結果

下の図1と図2は、このトピックの最終結果を示しています。図1は、**Ghost** プロパティを **True** に設定したときに生成される半透明のプレビューを示しています。図2は、スプリッターバーが解放され、**Panel1** がサイズ変更されたあとのコントロールの表示を示しています。図2のテキストがプレビューで表示された形式になっていることに注意してください。

Splitter for ASP.NET Web Forms

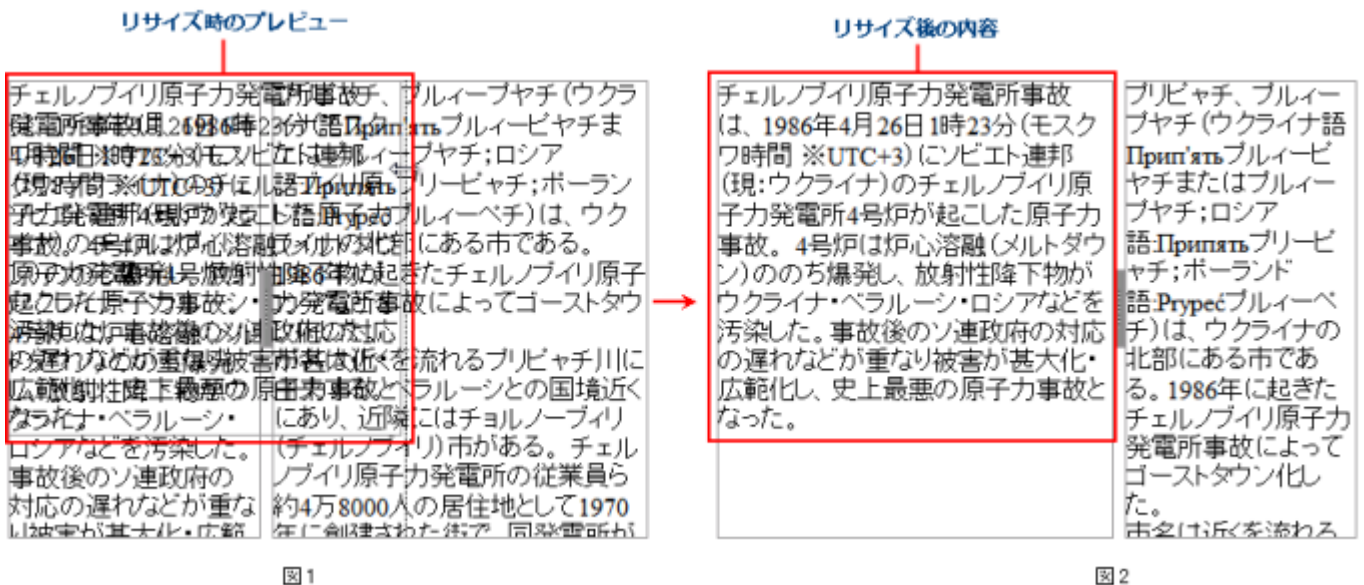


図1

図2

Ghost プロパティの設定値を比較した図については、「[パネルのプレビュー](#)」を参照してください。